

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成27年 1月27日更新

事務事業名		九州中央地域連携推進協議会参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	政策部	課長名	坂本政誠
	施策	25	行政改革の推進			所属課	政策課	担当者名	白濱ひろ子
	基本事業	85	広聴・広報機能の充実			所属班	政策班	(内線)	1236
予算科目		会計一般	款2	項1	目9	事業連番11530	法令根拠	九州中央地域連携推進協議会規約	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ⑫
								コスト削減優先度評価結果	: ⑥

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	九州中央地域(熊本・大分・宮崎県)の自立的で多様な富んだ地域社会の実現に向けて、市町村の連携強化と交流拡大による広域的な一体的な交流圏の構築、地域特性を活かした一体的な振興整備を行うことを目的に平成9年8月1日に組織された「九州中央地域連携推進協議会=通称:九州中央77」に参画している。本協議会は、当初77市町村で発足、構成市町村の連携強化と交流拡大事業の推進に取り組み、定着してきたところであるが、市町村合併の進展により現在は、36市町村での構成となっている。〔熊本県:熊本市、宇土市、宇城市、阿蘇市、合志市、美里町、大津町、菊陽町、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、山都町の19市町村〕、〔大分県:大分市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後大野市、由布市の7市〕、〔宮崎県:延岡市、日向市、門川町、美郷町、諸塚村、椎葉村、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町の9市町村〕、及び推進協議会の趣旨に賛同する機関から顧問・参与(総務省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、日本郵政公社、各県など)が参加している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	・総会及び講演会、地域づくりに関する交流研修会、会議へ参加する。・推進協議会が取り組む事業として、「九州中央77スタンプラリー」事業があり、市の物産・主要施設を紹介、来訪を促進する。・構成市町村は、スタンプラリーのスタンプ設置箇所を選定、承諾確認、スタンプラリー用品の配置、特産品当選者への賞品発送(各市町村2名分ずつ分担)を行う。合志市のスタンプ設置場所(ユーパレス弁天物産館、農業公園カントリーパーク物産館)
【主な予算費目】	需用費(九州77スタンプラリーリーフレット代)、負担金補助及び交付金(市町村負担金)
【意見や要望】	関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO)	① 手段(主な活動) 26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)	
総会・交流研修会・会議への参加、九州77スタンプラリーの参画・実施	総会・交流研修会・会議への参加、九州77スタンプラリーの参画・実施	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
ア: 総会、交流研修会、会議回数	回	
イ: スタンプラリーの設置数	箇所	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
スタンプラリー参加者	ア: スタンプラリー応募総数	件
	イ:	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
合志市(ユーパレス弁天、農業公園)に来訪してもらう。	ア: 合志市のスタンプを押した応募件数	件
	イ:	
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
合志市に来訪していただくという意図で本市でスタンプを押した応募件数としている。参画事業として、業務の変化が少ないため例年ごとの件数を指標としている。		全体計画
		~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度実績(決算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	27年度予定	28年度見込	29年度見込
① 活動指標	ア 回		2	1	2	2	2	2	2	2
	イ 箇所		2	2	2	2	2	2	2	2
② 対象指標	ア 件		1,638	2,090	2,000	2,007	2,000	2,000	2,000	2,000
	イ:									
③ 成果指標	ア 件		77	84	100	80	100	100	100	100
	イ:									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	130	130	130	130	130	130	130	130
	(A) 事業費計	千円	130	130	130	130	130	130	130	130
(A)のうち指定経費	千円	30	30	30	30	30	30	30	30	
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	
人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	84	84	84	84	84	84	84	
(B) 人件費計	千円	339	341	341	334	341	341	341	341	
トータルコスト(A)+(B)	千円	469	471	471	464	471	471	471	471	

事務事業名	九州中央地域連携推進協議会参画事業	所属部	政策部	所属課	政策課
-------	-------------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した 合志市を訪れる参加者は目標には達成しなかった。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 ⇒
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 合志市の魅力をアピールするためのリーフレット校正を行い、また、イベント情報を掲載し参加者の増加を図る。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 ⇒
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 連携協議会がめざす九州中央地域の横断軸連携の背景には、中九州横断道路建設促進の期成も視野に入れてあり、この参画事業のさらなる活性化によって、人・物の動きを円滑にするための手段（道路）を求める声が盛り上がる可能性もある。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ⇒
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】（具体的な手段、事務事業） <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 現時点では、この参画事業以外に、県境を越えた市町村の広域な連携体制はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 ⇒
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 この参画事業による構成市町村の経費負担は、連携協議会の事業活動を行ううえで最小限の負担としており、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 最小限の事務を行っているため、削減の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ⇒
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 公平な情報提供を図っており公平・公正である。今後は広報誌やHP等で周知を図っていく。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ⇒
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 九州中央地域連携推進協議会規約により構成されており、圏域の地域振興及び各種交流事業を行っており自治体が行う事業である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 ⇒

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

本事業の目的である圏域の特色ある自然、歴史、文化等の多彩な地域資源を活かした構成市町村との連携や交流ネットワーク基盤の整備、圏域間のアクセス強化を図るため、例年、構成市町村によるスタンプラリー（各地特産物が景品）を実施しているが、合志市への来訪者数が少ないため、H26に予定している秋祭りで合志市の魅力を市内外に発信し改善を図りたい。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					